

科目	危機管理論	担当	崔 俊	履修学年	3年
時間数	90分×時限×16回(週1回)	履修区分	選択	単位数	2単位

【授業目標・到達目標】

現代企業経営においてはただ一回の戦略的選択の失敗がただちに企業の存続をも左右しうる致命的な危機誘発に？がる。
 さらに景気変動による事業破綻の多発や絶え間なく発生している企業倫理的な側面からの不祥事も危機管理の観点を見直さなければならない大きな要因になっている。本講義では企業戦略的な観点から危機管理の意義を理解し、その実践方法を探ることにより、企業経営の次なる重要な実践理論としての危機管理の論理を習得することを目標とする。それに基づいて、ある企業、ある事業、あるいは自分自身を対象に、企業、事業、自分自身が取り巻かれている環境の中で、今後危機誘発の可能性のある要因を識別し今後の展開を予測した上で、危機対応戦略の構想ができることを目指す。

【履修注意】

- ・シャープ、東芝などの事業破綻や不祥事や事件・事故に関連する企業の動向に関心を持って注目すること
- ・関心を持っている企業を一つ選び、その企業の置かれている状況や経営課題に常に注目すること

【評価方法】

- ・定期試験70%、レポート10%、授業中のメモテスト整理10%、出席10%

【試験について】

- ・期末に15回の授業内容に対する総整理の意味を兼ねて、筆記試験を実施
- ・再試験対象者の条件：50点以上、60点未満で、最低11回以上出席している者

【予習・復習】

- ・授業中出された課題に対する充実な復習とともに、講義内容について予習・復習することを勧める。

【教科書】

指定教科書なし。講義内容のPPテキストと配布するテキストレジュメ使用

【参考書】

書籍名：Effective Crisis Management、著者：M. Seymour, S.moore、出版社：Cassell
 書籍名：『名経営者がなぜ失敗するのか?』、著者：Sydney Finkelstein、出版社：日経BP社(日本語訳)

【その他の注意事項】

【授業計画・内容】

回数	項目	内容
1	危機管理の意義	危機管理とは、危機管理の実践目標、危機管理の機能と範囲
2	今企業では何が起きているのか1	日本企業の実例分析、不祥事、敵対的企業買収
3	今企業では何が起きているのか2	日本企業の実例を分析、戦略的失敗、事件・事故
4	今なぜ戦略的危機管理なのか	経営環境の変化、戦略的危機管理の必要性
5	企業危機管理の実践動向と課題	危機管理現状、日本企業アンケート調査結果分析
6	企業危機の理解	企業危機の本質と性格
7	企業経営と危機管理	危機管理の意義、対象、スコープ
8	戦略的危機管理の意義と前半までの中間整理	戦略的危機管理の重要性、現状、役割と中間整理
9	危機管理論の系譜	経営学における危機管理論の展開
10	企業危機誘発の過程	企業危機の原因、危機誘発のプロセス
11	企業危機誘発要因・要素	企業危機の源泉、類型、危機誘発要因の識別方法
12	戦略的危機管理の構図	危機管理の五段階、危機管理の機能と役割
13	危機誘発要因の探索 1	経営環境分析の基本、シナリオ分析の意義
14	危機誘発要因の探索 2	シナリオ分析の実例分析と実習
15	危機管理システムの構築	危機管理システム構築のプロセス、危機管理の成功条件
16	期末試験	15回授業内容の復習・確認・まとめテスト